

【平成15年度】設計課題 「住宅地に建つ動物病院併用住宅(鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建)」

1. 設計条件

住宅地に建つ動物病院(犬・猫を対象とする)併用住宅を計画する。
 計画に当たっては、次の①、②に特に留意すること。
 ①動物病院と住宅部分は、出入口を明確に分離し、屋内の1階部分で行き来できるようにする。
 ②動物病院部分の各要求室について、適切な配置計画及び動線計画とする。

(1)敷地

ア、形状、道路との関係、方位等は下図のとおりである。
 イ、第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
 ウ、建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
 エ、地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
 オ、電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2)構造、階数及び建築物の高さ

ア、鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建てとする。
 イ、建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(3)延べ面積

必ず「240㎡以上、280㎡以下」とする。
 (ピロティ、玄関ポーチ、屋外交流スペース、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しない。)

(4)家族構成等

夫(獣医師)、妻(事務手伝い)、子供1人(男子中学生)、スタッフ2人(通勤)

(5)所要室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

部門	設置階	室名	特記事項
動物病院部分	1階	玄関・待合室	ア、16㎡以上とし、その他に外来者用便所(広さは適宜)を設ける。 イ、履物は履き替えないこととする。
		受付・事務室	ア、6㎡以上とする。 イ、受付カウンターを設ける。
		診察室	6㎡以上とする
		処置室	ア、20㎡以上とし、その他にX線室(4㎡以上)を設ける。 イ、治療・レントゲン検査・手術等に使用する。 ウ、診察室から直接行き来できるようにする。
		入院室	12㎡以上とする。
		トリミングルーム	ア、10㎡以上とする。 イ、治療中の犬・猫の毛を洗ったり、整えたりするために使用する。
		スタッフルーム	ア、10㎡以上とし、その他にスタッフ用便所(広さは適宜)を設ける。 イ、スタッフの更衣・休憩等に使用する。
		倉庫	4㎡以上とする。
住宅部分	1階	玄関	下足入れを設ける
	2階	居間・食事室・台所	25㎡以上とし、1室にまとめる。
		和室	6畳以上とし、床の間及び押入を設ける。
		夫婦室	洋室12㎡以上とし、その他にウォークインクローゼットを設ける。
		子供室	洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		浴室	広さは適宜とする。
		洗面脱衣室	
		便所	4㎡以上とする。
	納戸		

(6)屋外交流スペース、駐車スペース及び駐輪スペース

屋外に、下表のものを計画する。

名称	特記事項
屋外交流スペース	ア、30㎡以上とし、玄関・待合室に隣接して設ける。 イ、飼い主の交流の場として利用する。 ウ、ベンチ・ペット用水飲み場を設け、周囲を柵等で囲む。
駐車スペース	ア、乗用車2台分(家族用1台、サービス用1台)とする。 イ、外来者用の駐車スペースは敷地の近くにあり、計画しなくても良い。
駐輪スペース	自転車3台分とする。

2. 要求図書

- 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、1階平面図兼配置図に、屋外交流スペース(柵等を一点鎖線で記入)、門、塀、植栽、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	ウ、屋外交流スペースに、ベンチ、ペット用水飲み場を記入する。 エ、室名を記入する。 オ、動物病院部分には、次のものを記入する。 ・受付・事務室に、受付カウンター ・外来者用便所及びスタッフ用便所に、洋風便器、洗面台 カ、住宅部分には、下足入れ、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等)、浴槽、洗面台、洋風便器、洗濯機を記入する。 キ、2階平面図に、1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク、断面図の切断位置を記入する。
(3) 立面図 (1/100)	・南側立面図とする。
(4) 断面図 (1/100)	ア、切断位置は、1階の玄関・待合室の開口部を含む部分とする。 イ、建築物の外形(1・2階)床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(はり、スラブ、地中ばり等)を記入する。 ウ、建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(5) 面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を、記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6) 仕上表	ア、外部の主要な部位、(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ、内部(玄関・待合室及び夫婦室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。

